

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立吉島東小学校	校長氏名	中居 芳樹	生徒指導主事氏名	見渡 英治
-----	------------	------	-------	----------	-------

**取組事例名 『たてわり班活動』**

**取組のねらい『キーワード 集団の中の一員としての意識』**

- ・異学年交流での出会いを通して、人とつながる力を育む。
- ・集団の一員として活動することの楽しさを味わう。
- ・リーダーとしての自覚を持たせ、活躍の場とする。

**取組の具体的内容『キーワード 年間を通じて』**

- ・ 4月 1年生を迎える会……………1年間、さまざまな活動を共にしていく1年生と6年生のペアを作る。6年生には学校の中のリーダーとしての責任感をもたせ、1年生には6年生と過ごすことで小学校での生活に慣れるための安心感をもたせる。



- 遠足……………1年生と6年生のペアと一緒に活動する。一緒に弁当を食べたり、遊んだり常に自分のペアの児童を意識させることでお互いを深く知り合い、信頼関係をきずかせる。



- ・ 6月 たてわり班顔合わせ会…1年間、さまざまな活動を共にする1年生から6年生で形成する班を作る。自己紹介と簡単なゲーム、たてわり班の旗の作成を行う。



- 7月 おりづる集会……………碑前祭に供える千羽鶴をたてわり班で集まって折る。自分だけで折るのではなく、折り方を高学年が低学年を教えるなど、班という集団を意識して活動する。



- 12月 校内ウォークラリー……………たてわり班で協力し、ゲームをしたり課題を解決したりしながら、異学年での交流をする。リーダーである6年生を中心に回るコースを班員の意見を取り入れながら決めたり、みんなが楽しめるという目標が達成できるように班をまとめたりしながら活動する。



- 3月 6年生を送る会……………1年間、リーダーとして班をまとめてくれた6年生に感謝の気持ちを込めて卒業を祝う。1年生から5年生は会場の飾りつけや準備をしたり、自分の班の6年生にプレゼントを作ったりする。

- 6月から3月まで……………1年間を通じて縄跳び運動や東っこ体操などの業前運動や昔遊びや転がしドッジボールなどのグループ遊びなどをたてわり班で行う。



### 取組の課題・創意工夫『キーワード 機会の保障と安心感』

・限られた授業時数の中から児童の活動時間を確保することの難しさは感じるが、たてわり班を使った活動を取り入れることにより得られる成果をより効果的にするためには、たてわり班と一緒に活動する機会の保障が不可欠となると考えた。そこで児童会活動を計画する生活部だけではなく、遠足や業前運動を計画する保体部など各校務部で計画する行事に意識的にたてわり班を活用するようにしてきた。その結果、たてわり班の児童が顔を合わせることが多くなり親近感を感じられるようになった。また様々な活動に協力させて取り組ませることで連帯感が生まれた。

・リーダーシップを発揮しやすいように、各行事の前に6年生児童にオリエンテーションを行った。きちんと見通しをもたせることで6年児童も安心感を感じ、自信をもって下学年に接することができるようにさせた。行事が終わるごとに振り返りをさせ、見つけた改善すべき点を次回の活動に生かすことが

できるようにした。

・異年齢、異性で構成するグループで活動することによって多様な考え方にふれさせることができるようにすることをねらって、たてわり班を組む時には、どの班も男女の比をできるだけ均等となるように組むようにした。

#### **取組の成果（効果）『キーワード 学年を越えたつながり』**

・1年間を通じて様々な活動を共にやってきたことで、学年を越えて良好な人間関係を築こうとする意識は高まった。特に6年生はリーダーとしての自覚をもち、自分のことだけではなく、グループ全体のことを考えて声かけをしたり、行動したりすることができるようになってきた。また5年生は、来年度、自分たちがリーダーとなった時に、果たすべき役割やグループをまとめる方法を6年生の姿を見ることで学び、明確にイメージすることができた。たてわり班活動を行っていない時でも、校内で出会えば声をかけたり、自ら率先して遊びに誘ったり、困っていたら助けたりということができるようになってきている。自分のことだけではなく、周りに意識を向けることができる児童が増えてきたように感じる。

#### **今後の展開『キーワード 反省と改善』**

・今年度取り組んできたたてわり班活動は、高学年のリーダー性の育成や、学年の壁を越えての良好な人間関係づくりの確立というねらいを達成するために非常に有効であったと感じる。今年度の取組の反省を活かしながら来年度もたてわり班活動を仕組んでいきたい。

#### **他校へのアドバイス『キーワード 計画と見直し』**

・行事の精選、またその内容の見直しをしていくことの必要性にせまられている中で、年間を通じてたてわり班を使った活動を行事の中に取り入れていくことの難しさを感じる。またリーダーとしての自信をもって取り組ませるためには、事前にリーダーとしての心構えや活動の流れなどが分かるようにオリエンテーションを行うことが欠かせない。